

新刊紹介

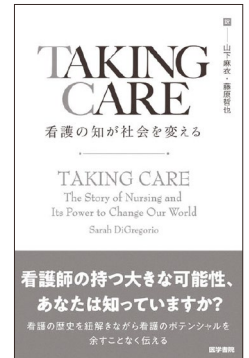


TAKING CARE

看護の知が社会を変える

原著 Sarah DiGregorio
訳 山下麻衣、藤原哲也
発行 医学書院
定価 3300円 (本体3000円+税10%)

専門職としての知識・技術を駆使して働く看護師は、実は社会を変える可能性を持つ人々であった。気鋭のジャーナリストは看護の歴史をひもときながら、その大きな可能性を魅力的に伝える。そこで語られる物語から、看護は人間社会の根幹を支える1つであり、看護師に支えられている社会の一員として誰もが知るべき、看護師のポテンシャルが明かになる。



質的研究 Step by Step 第3版

すぐれた論文作成をめざして

著 波平恵美子
発行 医学書院
定価 3080円 (本体2800円+税10%)

論文作成を通して研究の本質を学び、完成へと導く実践ガイドの最新版。量的研究では捉えきれない個性や多様性を明らかにする質的研究の論文作成まで、医療人類学の第一人者が初学者の声を取り入れて、Stepごとに会えるさまざまな問題や疑問への対応策を理解しやすいよう加筆・修正。さらに第4～5章では、質的研究の手順と方法を明示している。



新 問いかけの作法

著 安斎勇樹
発行 ディスカバー・トゥエンティワン
定価 2090円 (本体1900円+税10%)

問いかけとは、さまざまなコミュニケーション場面において、相手に質問を投げかけて反応を促進すること。「見立てる」「組み立てる」「投げかける」の問いかけのサイクルを回すことで、周囲の思考を促し、才能を引き出し、予想を超えたパフォーマンスを生み出す。本書は問いの組み合わせ方や質問技法など、実践のための質の高い問いかけの作法を伝授する。



乳と捨て子の〈近代〉

産み育てる現場から

著 沢山美果子
発行 吉川弘文館
定価 1980円 (本体1800円+税10%)

養育できない子どもを捨て他者にゆだねた〈近世〉から、母性愛が強調される〈近代〉へ。乳と捨て子を切り口に、産み育てる現場から、子どものいのちをつなぐ営みの在り方が、歴史的にどのように変化していったのか。生命観、子ども観、家族観の変化のプロセスを探り、母親たちを根強く縛っている、子育ての担い手を母に一元化する「母性」規範を相対化する。

